

会員の研究紹介コーナー
《こんな論文書きました》

Yamasaki, A. 2003. Root-pressure driven xylem sap flow in greenhouse melon (*Cucumis melo* L.): Diurnal change and the effects of shading, growth stage, rootstock and fruit number. *Plant and Soil* 255(1): 409-412.

(Roots: the Dynamic Interface between Plant and the Earth. Kluwer, Dordrecht, The Netherlands, 2003. にも収録)

この研究は、旧野菜・茶業試験場久留米支場在職中に行ったもので、当時スイカの台木の種類と根の活性との関連について調べており、中でも、木部いつ泌液を片っ端から採取して、その量や内容成分（無機成分、サイトカイニン等のレベル）について調査していました。その結果は既に園芸学会で報告致しました¹⁾。そのとき、採取できるいつ泌液の量が日によって異なることが気になっていました。それは、当日の気象条件に影響を受けているようでしたが、それはすでに報告されていることです。でもそれだけではないことに気がつき、採取する前日の天候の影響について調べるために、メロンを用いて採取予定前日に植物体を遮光したところ、翌日のいつ泌液量が遮光によって明らかに減少しました。その他、液量には日変化があることや着果数の影響を受けることなども明らかになり、比較的新しく同化された光合成産物のレベルが、採取できる液量に大きく影響することが示唆されました。

これらのことから、いつ泌液を採取しそれから得られる情報を根の状態を示す指標として使う場合、採取前や採取中の天候、採取時間などに注意を払う必要があることを示しました。いつ泌液の量を測定しただけの内容であり、特集号とはいえよく掲載していただけたものだと、事前審査等ご指導いただいた皆様に感謝する次第です。

(農業技術研究機構東北農業研究センター野菜花き部 山崎 篤)

2004年10月18日受付

*連絡先 〒020-0123 盛岡市下厨川字鍋屋敷92 農業技術研究機構東北農業研究センター野菜花き部
E-mail: yamasaki@narc.affrc.go.jp